

2024年度事業および決算報告について

こくみん共済 coop 〈全労済〉(全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長:打越 秋一)は、2025年8月27日(水)、こくみん共済 coop ホール/スペース・ゼロ(東京都渋谷区)にて「第145回通常総会」を開催し、2024年度計画経過報告、および2025年度計画設定などの諸議案が可決されました。

つきましては、2024年度事業・決算の概要について報告いたします。

I. 2024年度の取り組みの概要

2024年度は、「こくみん共済 coop 中期経営政策 2022-25 ~変革と創造~」の3年目として、中期経営政策の前半期2カ年の振り返り等を踏まえて補強した計画にもとづき、「新しいたすけあい」の創造・実践を進めました。

1. 組合員・生活者との姿 ~寄り添う、身近な存在~

(1) 多様なコミュニケーション手段を確立

組合員専用WEBサービスであるマイページについて、口座振替情報の通知等、組合員の利便性向上につながる機能を拡充しました。また、共済契約証書・更新書類について、組合員のご希望により、紙でのご案内からデジタルでのご案内にすることを選択いただけるようになりました。

(2) 幅広く安心をサポート

損害調査業務の抜本改革の実施にむけた対応や組合員の声にもとづく改善要望等を踏まえ、マイカー共済の商品改定を実施し(2025年4月)、組合員にとってより一層安心いただける商品・サービスの提供ができる制度へと改善をおこないました。

(3) 事業・運動への参加、共感を拡大

被災地の復興支援につなげる取り組み「みんなで被災地応援プロジェクト」(住まいの共済見積数に応じた寄付)を展開しました。

■みんなで被災地応援プロジェクト取り組み状況(2024年6月~11月末)

見積件数	寄付・助成金額	寄付先
92,613件	9,261,300円	日本赤十字社、 全国社会福祉協議会等

2. 協力団体・共創パートナー団体との姿 ~事業と運動の強固なパートナーシップ~

(1) スムーズで迅速な共済活動

職域での「新しいたすけあい」を創造・実践していくことにむけて、セット共済における手続きのデジタル化により、組合員の利便性向上や、協力団体の事務等の効率化を進める「セット共済WEBシステム」を2025年2月より本格展開しました。

(2) 地域課題解決にむけた共創

未来ある子どもたちを交通事故から守る取り組み「7才の交通安全プロジェクト」(マイカー共済の見積数に応じた横断旗の寄贈)と、子どもの健全育成を目的に展開する「子どもの成長応援プロジェクト」(こくみん共済「子ども保障タイプ」の加入件数に応じたなわとび・長なわの寄贈)を継続展開しました。

3. 業務・経営の姿 ~最適な体制、人財の活躍、さらに健全な経営~

(1) 体制・役割を最適化

多様性・包摂性を持った人財の活躍を実現する職場・風土づくりにむけて、「こくみん共済 coop D&I ビジョン・ロードマップ」を策定しました。

(2) 事務・お支払等を高度化・効率化

アプリやマイページ経由での共済金のご請求手続きについて、職域契約(団体生命共済)での利用開始等、組合員の利用拡大にむけた取り組みを展開しました。

また、事務業務の効率化と人による業務の高度化にむけて、業務プロセスの整理・見直しを実施し、WEB 請求手続きの利用範囲拡大や、人による対応が中心であった申込書の点検・補記業務のデジタル化等を進めました。

(3) お役立ちを進める推進体制

加入のお手続きや共済金のお届け等の組合員とのあらゆる接点場面を想定し、全国の各拠点で組合員視点での CX(組合員体験価値)向上にむけた取り組みを展開しました。

4. 2024 年 台風 10 号への対応

2024 年 8 月 29 日に鹿児島県に上陸した「2024 年台風 10 号」では、甚大な被害に迅速に対応していくため、損害事故受付の拠点に受電要員を増員し対応を進めました。また、応答率を低下させないよう、音声自動応答による受付機能の活用や、入電が集中する期間はより多くの受付が可能となる「簡易受付」を基本とした対応を進めました。

調査活動では、床上浸水事案を除いて書類審査を基本とし、請求書類が到着した事案は全国の拠点で損害認定を実施しました。また、床上浸水の調査では「水災早見表」を活用した簡易認定も可能とするなど、被災された組合員への迅速な共済金のお届けにむけた対応をおこないました。

■被災受付・共済金等のお届け状況(2025 年 5 月末時点)

被災受付件数	調査等完了件数	金額
9,804 件	7,645 件	3,225,056,097 円

※調査等完了件数には共済金等のお届けの対象とならなかった事案も含みます。

※本資料の数値は四捨五入して表記しています。

II. 事業および決算の概況

1. 事業の概況

契約高は 791 兆円、受入共済掛金は 5,299 億円、契約件数は 2,893 万件、契約口数は 38.7 億口となりました。

2. 損益の概況

(1) 経常収益

経常収益は 6,461 億円（前期比 28 億円減）となりました。

(2) 経常費用

経常費用は 5,642 億円となりました。このうち、支払共済金は 3,175 億円（前期比 80 億円減）となりました。

(3) 資産運用

資産運用純益は 490 億円（前期比 12 億円増）となり、運用利回りは 1.33% となりました。

(4) 経常剰余金

経常剰余金は 818 億円（前期比 67 億円減）となりました。

(5) 特別損益

特別損失として価格変動準備金繰入 28 億円を計上し、固定資産処分損 4 億円を計上しました。

(6) 割戻金

組合員（契約者）への割戻金の総額は 384 億円（前期比 2 億円増）となりました。

(7) 当期剰余金・当期末処分剰余金

当期剰余金は 350 億円（前期比 24 億円減）となり、当期に取り崩した任意積立金などを加えた当期末処分剰余金は 464 億円（同 29 億円減）となりました。

3. 剰余金処分

当期末処分剰余金 464 億円に対し、剰余金処分額として、法定準備金 70 億円、任意積立金 374 億円の合計 444 億円を計上し、次期繰越剰余金は 20 億円となりました。

4. 財務の概況

(1) 総資産

総資産は 4 兆 27 億円（前期比 167 億円減）となりました。このうち運用資産は 3 兆 5,564 億円（同 524 億円減）となりました。

(2) 負債

負債は 3 兆 4,893 億円（前期比 134 億円減）となりました。このうち、共済契約準備金は 3 兆 2,976 億円（同 157 億円減）、価格変動準備金は 1,107 億円（同 28 億円増）となりました。

(3) 純資産

純資産は 5,133 億円（前期比 33 億円減）となりました。このうち、会員資本は 6,013 億円（同 335 億円増）となりました。

5. 主な経営指標について

(1) 修正自己資本

修正自己資本は 1 兆 1,208 億円（前期比 240 億円増）、修正自己資本比率は 28.0% となりました。

(2) 基礎利益

費差益は10億円、利差益は94億円、危険差益は1,082億円となり、基礎利益は1,185億円（前期比42億円増）となりました。

(3) 支払余力比率

支払余力比率は2,001.5%（前期比251.8ポイント減）となりました。

(4) 実質純資産額

実質純資産額は1兆2,918億円（前期比1,400億円減）となりました。

<こくみん共済 coop >

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

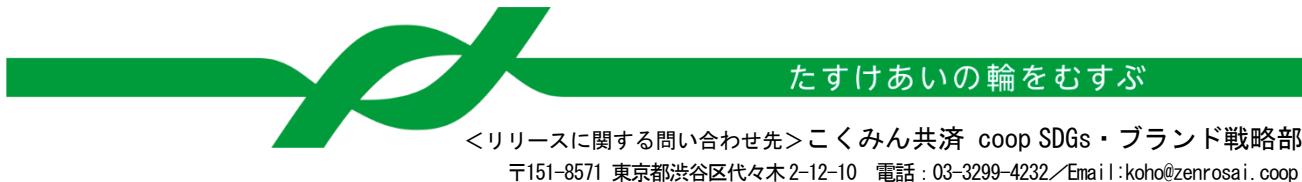
たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万一に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さんと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives : IYC）に定めました。こくみん共済 coop は IYC2025 に賛同しています。

<https://www.zenrosai.coop/zenrosai/profile/kokusai/iyc/2025.html>



<ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先>
株式会社ユース・プランニング センター 担当:藤井、河名、川上
Tel:03-6821-8699 / Fax:03-6821-8869
藤井:090-7900-7866 / s-fuji@ypcpr.com
河名:090-7900-2759 / k-kawana@ypcpr.com